

堺

さかいhamonoミュージアム 堺HAMONOミュージアム

堺を代表し、全国で知られる伝統産業のひとつに「堺打刃物」があげられます。

展示だけでなく多くの人々に「ものづくり」を「体験」(要予約)してもらう施設として「堺 HAMONO ミュージアム」は多くの見学者に親しまれています。

堺は鉄と関わりが古く、古墳時代に遡ります。世界最大の古墳「仁徳天皇陵」に代表される古墳を工事する上で、鋤、鍬が大量に必要となり、多くの鍛冶職人が堺に移り住んだことが起源とされ、今でもいくつかの地名にその名残がみられます。戦国時代から安土桃山時代にかけて堺は貿易港として黄金期を迎え自治都市として繁栄しました。ポルトガルからはたばこが伝来、その葉を刻む「たばこ包丁」が造られるようになりました。

金属の高度な伝統技術が評価され、江



大道筋（阪堺線）から見たミュージアムの外観



常設展示室：多彩な「堺打刃物」を展示



用途毎に作られた「堺打刃物」

所在地：堺市材木町西 1 丁 1-30
最寄駅：阪堺線「妙国寺前駅」下車 徒歩 3 分
見学：無料（毎週火曜日定休日）
TEL：072-227-1001

江戸時代には「堺極（さかいきわめ）」の印を幕府から受け専売品として流通されたことから「堺打刃物」の品質の良さが全国へ知れ渡ることになりました。

刃物の製造はいくつもの工程がわかれ、内容ごとに仕事の分担が「鍛冶屋」「刃付け屋」「柄屋」「問屋」と別れています。それぞれの専門家が高度な伝統技術を駆使しひとつのものを作り上げる伝統は 600 年を経た現在も引継がれています。

私たちの建築分野も、さまざまな専門技術の積み重ねにより、ひとつの建物が作られようと、「堺打刃物」における「ものづくり」と共感できるのではないでしょうか。

（桑原宏明）